

取扱説明書

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 **DMC-G7H/
DMC-G7**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。(94ページ)
取扱説明書、取扱説明書 活用ガイドは、スマートフォンにダウンロードして読むこともできます。(96ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

安全上のご注意

準備・基本

撮る

動画

見る

Wi-Fi

他の機器との接続

その他・Q&A

目次

準備・基本

ご使用の前に	9
同梱品	10
各部の名前と働き	11
本機で使用できるレンズ	13
撮影前の準備	14
ショルダーストラップを付ける	14
バッテリーを充電する	14
バッテリーを入れる・取り出す	15
カード(別売)を入れる・取り出す	15
カードをフォーマット(初期化)する	16
記録可能枚数・時間の目安	16
レンズを付ける / 取り外す	17
モニター面を表にする	18
時計を設定する	18
視度調整について	18
基本の操作	19
本機の構え方について	19
ズーム操作	19
シャッターボタン(写真の撮影)	20
動画ボタン(動画の撮影)	20
モードダイヤル(撮影モードの選択)	21
カーソルボタン/[MENU/SET]ボタン	21
前ダイヤル/後ダイヤル	22
[DISP.]ボタン(表示情報の切り換え)	23
[LVF]ボタン (モニターとファインダーの切り換え)	24
タッチパネル(タッチ操作)	24
タッチ機能を使って撮る	25
メニューの設定方法	26
よく使うメニューをすぐ呼び出す (クイックメニュー)	27
よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)	27

撮る

カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)	28
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)	29
階調豊かな写真に合成する(iHDR)	29
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	30
明るさや色合いを変えて撮る	30
絞り値とシャッタースピードを 自動で設定して撮る(プログラム AE モード)	31
絞り値/シャッタースピードを決めて撮る	31
絞り優先 AE モード	32

シャッター優先 AE モード	32
マニュアル露出モード	32
絞り効果 / シャッタースピード効果を 確認する(プレビューモード)	33
パノラマ写真を撮る(パノラマモード)	34
撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)	34
画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)	35
絞り/シャッタースピードを決めて 動画を撮る(クリエイティブ動画モード)	36
動画撮影中の操作音を抑えて撮る	36
お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード)	37
お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録)	37
登録したカスタムセットで撮る	37
ホワイトバランスを調整する	38
画質とサイズを設定する	39
画像の横縦比を選ぶ	39
記録画素数を設定する	39
画像の圧縮率を設定する(クオリティ)	39
自動でピントを合わせる (オートフォーカス)	40
フォーカスモードを選ぶ(AFS, AFF, AFC)	40
オートフォーカスモードを選ぶ	41
手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス)	42
ピントや露出を固定して撮る (AF/AEロック)	43
露出を補正して撮る	43
ISO感度を設定する	44
シャッター方式を設定する(電子シャッター)	44
ドライブモードを選ぶ	45
連写する	45
4Kフォトを撮る	46
露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)	48
セルフトイマーを使って撮る	48
操作音と発光の禁止を一括で設定する (サイレントモード)	49
手ブレを補正する	49
望遠効果を上げる	50
フラッシュを使って撮る	50
フラッシュモードを切り換える	51



「安全上のご注意」を必ずお読みください (4～8ページ)

動画

動画を撮る.....	51
4K動画を撮る.....	52

見る

写真を見る.....	53
動画を見る.....	53
再生方法を切り換える.....	54
再生画面を拡大する(再生ズーム).....	54
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生).....	54
画像を撮影日ごとに表示する (カレンダー再生).....	54
画像を消去する.....	55
再生メニューを使う.....	56
RAW現像.....	56
動画分割.....	57

Wi-Fi

Wi-Fi®機能でできること.....	58
Wi-Fi機能について.....	58
スマートフォン/タブレットとつないで使う.....	59
スマートフォン/タブレットアプリ [Image App]をインストールする.....	59
スマートフォン/タブレットと接続する.....	60
スマートフォン/タブレットで撮影する (リモート撮影).....	61
カメラの画像を再生する.....	62
カメラの画像を保存する.....	62
カメラの画像をSNSへ送信する.....	62
スマートフォン/タブレットから カメラの画像に位置情報を追加する.....	63

スナップムービーで撮影した動画を スマートフォン/タブレットで お好みに結合する.....	63
無線アクセスポイントを経由して パソコンと接続する.....	64

他の機器との接続

テレビで見る.....	66
写真や動画をパソコンに残す.....	67
付属のソフトウェアを使う.....	67


その他・Q&A


別売品のご紹介.....	70
モニター/ファインダーの表示.....	72
メッセージ表示.....	75
メニュー一覧.....	76
撮影.....	76
動画.....	77
カスタム.....	78
セットアップ.....	79
再生.....	80
Q&A 故障かな?と思ったら.....	81
使用上のお願い.....	85
無線LAN使用上のお願い.....	89
仕様.....	90
さらに詳しい説明は.....	94
CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内.....	95
「パナソニックスマートアプリ」のご案内.....	96
保証とアフターサービス.....	97

本文中の記号について



MENU : [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

 : カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。

 : 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

 : 特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → 

● 本書では交換レンズ(H-FS14140)を用いて説明をしています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。



気をつけていた
だく内容です。

危険



バッテリーパック[※]は、誤った使いかたをしない
([※]以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー[※]は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
([※]以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・電源を切り、販売店にご相談ください。



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- めれた手で抜き差ししない



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

警告



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャーには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



メモリーカード、ホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど^{*}の原因になります。

長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

^{*}血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告



航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から15 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

⚠️ 注意



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

3Dの撮影について



3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時の最短撮像距離は0.6 mです。



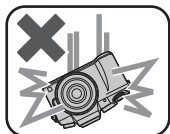
3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて



本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

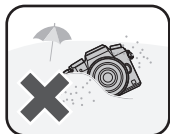
- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
– 本機を落とす、またはぶつける
– レンズ部やモニターを強く押さえつける



本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

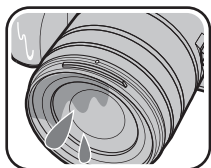
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物が入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
– 砂やほこりの多いところ
– 雨の日や浜辺など水がかかるところ



デジタルカメラボディのマウント内に手を入れしないでください。
センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)



- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをして、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

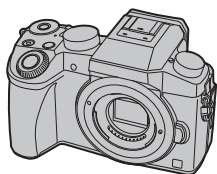
■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

同梱品



デジタルカメラボディ (本文中では本体と表記します)

付属品をご確認ください。

DMC-G7H(レンズキット商品)に同梱

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	交換レンズ H-FS14140 (本文中では レンズ と表記します)		レンズフード VYC1119		レンズキャップ※ ¹ VYF3514		レンズリアキャップ※ ¹ VFC4605

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	バッテリーパック DMW-BLC12 (本文中では バッテリー と 表記します) ●充電してからお使いください。		ボディキャップ※ ³ VKF4971
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	バッテリーチャージャー※ ² DE-A79A (本文中では チャージャー と表 記します)		CD-ROM ●ソフトウェア (パソコンにインストールして お使いください) ●取扱説明書 活用ガイド
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	ホットシューカバー※ ³ SKF0106K		USB 接続ケーブル K1HY08YY0031
		<input type="checkbox"/>	
			ショルダーストラップ VFC5167

※¹ お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

※² 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC6)をお買い求めください。

※³ お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

- 記載の品番は2015年5月現在のものです。変更されることがあります。
- カードは別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループのショッピングサイト

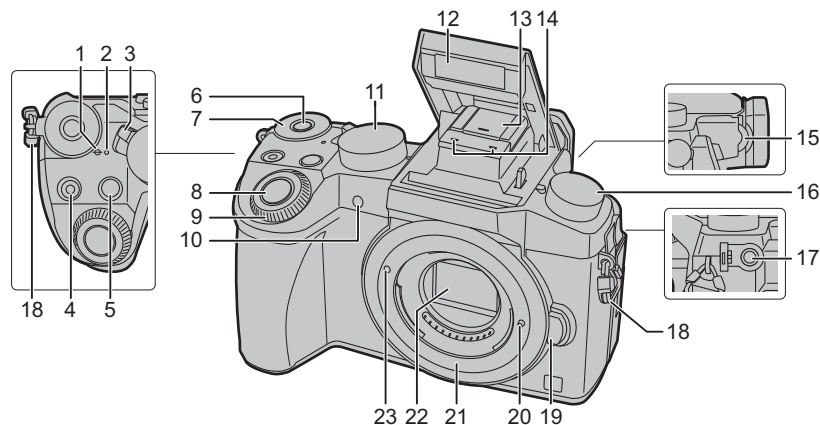


Panasonic Store

付属品は販売店で買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」
で買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

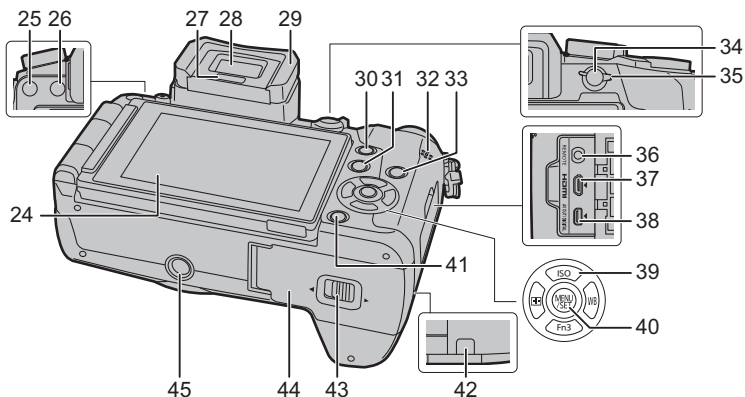
各部の名前と働き




■ デジタルカメラボディ



1	撮影距離基準マーク	15	視度調整ダイヤル(P18)
	電源表示ランプ(P18)/ Wi-Fi®接続ランプ(P58)		ドライブモードダイヤル □ :単写(P45)/ :連写(P45)/ :4Kフォト(P46)/ :オートブラケット(P48)/ ⌚ :セルフタイマー(P48)/ ⌚ :インターバル/コマ撮り撮影
2	●電源[ON]時は緑色に、Wi-Fi接続時は青色に点灯します。	16	
3	電源スイッチ(P18)		
4	動画ボタン(P51)		
5	[] (露出補正) ボタン(P43)/ ファンクション [Fn1] ボタン(P27)		
6	ファンクションボタン(Fn11) (P27)	17	マイク [MIC] 端子(P70) ●外部マイク(別売)を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。
7	後ダイヤル(P22)	18	ショルダーストラップ取り付け部(P14)
8	シャッターボタン(P20)	19	レンズ取り外しボタン(P17)
9	前ダイヤル(P22)	20	レンズロックピン
10	セルフタイマーランプ(P48)/ AF補助光ランプ	21	マウント
11	モードダイヤル(P21) ●撮影モードを設定できます。	22	センサー
12	フラッシュ発光部(P50)	23	レンズ取り付けマーク(P17)
13	ホットシュー(ホットシューカバー) ステレオマイク(P77)		
14	●マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。		

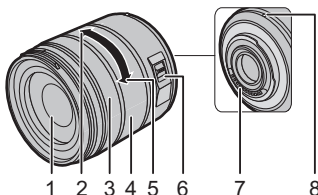
各部の名前と働き (続き)



24	タッチパネル(P24)/モニター(P72)		
25	[LVF] ボタン(P24)/ <small>ファンクション</small> [Fn5] ボタン(P27)		
26	フラッシュオープンボタン(P50) ●フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。		
27	アイセンサー(P24)		
28	ファインダー(P24)		
29	アイカッパ(P86)		
30	<small>クイックメニュー</small> [Q.MENU] ボタン(P27)/ <small>ファンクション</small> [Fn2] ボタン(P27)		
31	[▶] (再生) ボタン(P53) スピーカー(P79) ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。		
32			
33	<small>ディスプレイ</small> [DISP.] ボタン(P23) ●押すごとにモニターの表示を切り換えます。		
34	[AF/AE <small>ロック</small> LOCK] ボタン(P43)		
35	フォーカスモードレバー(P40, 42)		
36	<small>リモート</small> [REMOTE] 端子(P70)		
37	[HDMI] 端子(P66)		
38	[AV OUT/DIGITAL <small>アウト デジタル</small>] 端子(P66, 69)		
39	カーソルボタン(P21) ▲(上)/[ISO] (ISO感度) (P44) ▶(右)/[WB] (ホワイトバランス) (P38) ◀(左)/[] (オートフォーカスモード) (P41) ▼(下)/ [Fn3] (P27)		
40	<small>メニューセット</small> [MENU/SET] ボタン(P21, 26)		
41	[ / ] (消去/戻る) ボタン(P55)/ <small>ファンクション</small> [Fn4] ボタン(P27)		
42	DCカプラー扉(P70) ●ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。		
43	開閉レバー(P15)		
44	カード/バッテリー扉(P15) 三脚取り付け部 ●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。		
45			

■ 同梱レンズ

H-FS14140




1	レンズ面
2	T側(望遠)
3	フォーカスリング(P42)
4	ズームリング(P19)
5	W側(広角)
6	O.I.S. スイッチ(P49)
7	接点
8	レンズ取り付けマーク(P17)

本機で使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使用することができます。

また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用することができます。



レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™マウント規格レンズ 	マウントアダプター(別売: DMW-MA1)
ライカ M マウント規格レンズ	Mマウントアダプター(別売: DMW-MA2M)
ライカ R マウント規格レンズ	Rマウントアダプター(別売: DMW-MA3R)

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しリリース](P79)を[ON]に設定してください。

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、35 mm換算で100 mmレンズ相当になります) 3D交換レンズについては、ホームページでご確認ください。

お使いの交換レンズのファームウェアについて

より快適な撮影のために、交換レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

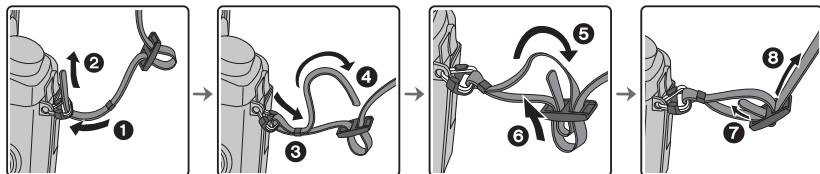
- ファームウェアの最新情報やダウンロードについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 交換レンズのファームウェアのバージョンは、本体に交換レンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。

撮影前の準備

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

ショルダーストラップを付ける

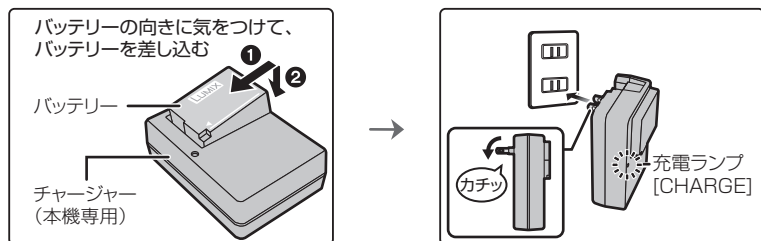
- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。



- 手順①～⑧の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLC12です。



■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

■ 充電時間について

充電時間

約140分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

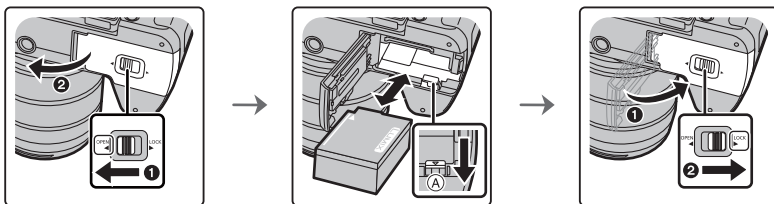


海外旅行先で充電する

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

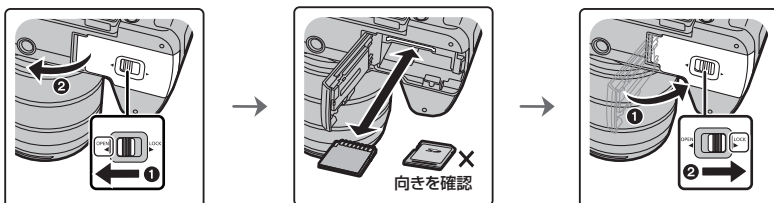
- 電源電圧(100V～240V)、電源周波数(50Hz、60Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

バッテリーを入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに (A) のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、(A) のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

カード(別売)を入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

■ 本機で使用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらをカードと記載しています)

- SDメモリーカード(512 MB～2 GB)/microSDカード※¹
- SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※¹
- SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※¹ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

- 上記の当社製カードで動作確認済みです。
- SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。
- 本機は UHS-I/UHS-II ※² UHS Speed Class 3 規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。

※² UHS-I/UHS-II とは、SDメモリーカードの高速インターフェースの規格です。UHS-II は UHS-I の約3倍の理論上での転送速度に対応します。

■ 動画撮影や4Kフォトの撮影とスピードクラスについて

動画の[記録方式](P52)や[画質設定](P52)によって必要なカードが異なります。4Kフォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。


[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4 ④
MP4	FHD/HD/VGA		
MP4	4K	UHS Speed Class 3	③
4K フォト撮影時		UHS Speed Class 3	③

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。メニューを設定する(P26)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [標準] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	890	1810	3630	7260
M(8M)	1640	3310	6640	13000
S(4M)	2800	5670	11360	21480

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	270	550	1110	2230
M(8M)	320	640	1290	2580
S(4M)	340	700	1410	2800

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	36m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	1h00m	2h00m	4h5m	8h15m
[FHD/24M/30p]/ [FHD/24M/24p]	43m00s	1h25m	2h55m	5h50m

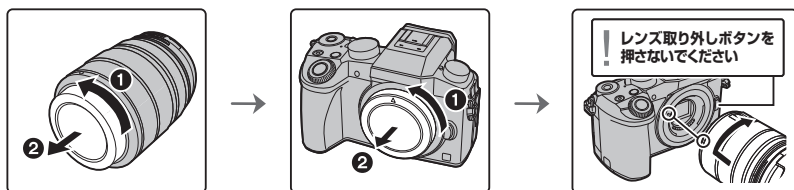
- 記録方式 [MP4] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p]/ [4K/100M/24p]	9m00s	20m00s	42m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/20M/30p]	49m00s	1h40m	3h20m	6h40m
[HD/10M/30p]	1h30m	3h10m	6h25m	12h50m
[VGA/4M/30p]	3h25m	7h00m	14h10m	28h15m

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、[△]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- [画質設定]のサイズが[FHD]、[HD]、[VGA]のMP4動画の場合：
連続記録時間が29分59秒を超える場合やファイルサイズが4 GBを超える場合は、記録を停止します。
- [FHD]は、ファイルサイズが大きいため29分59秒より前に撮影を終了します。
- [画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画の場合：
連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが4 GBを超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます)

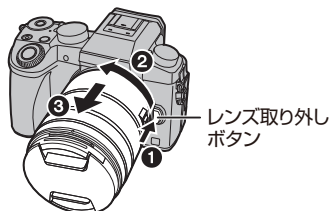
レンズを付ける / 取り外す

- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は、85ページをお読みください。



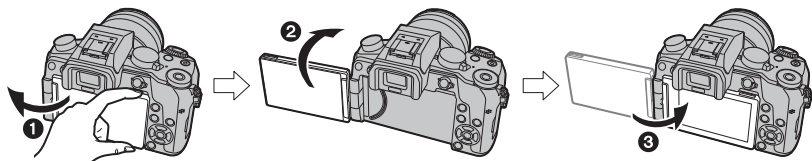
■ レンズの取り外し方

- 1 レンズキャップを付ける
- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



モニター面を表にする

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。下図のようにしてモニター面を表にします。

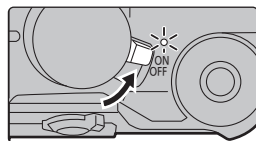


- 1 モニターをつまんで開く(最大 180° 開きます)
 - 2 レンズ方向に 180° 回転させる
 - 3 元の位置へ閉じる
- モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。
 - モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

時計を設定する

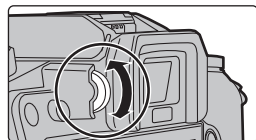
● お買い上げ時は、時計設定されていません。

- 1 電源スイッチを [ON] にする
 - 電源が入ると電源表示ランプが緑色点灯します。
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
- 5 [時計を設定しました] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す
- 6 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す
- 7 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

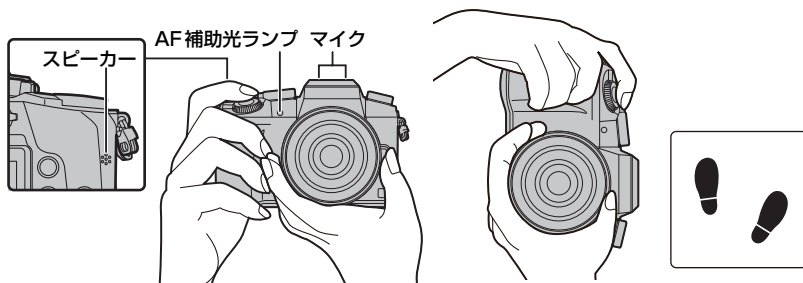


基本の操作

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ポールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。

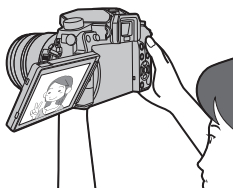
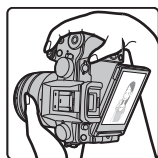


準備・基本

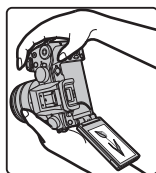
■ フリーアングル撮影

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

ハイアングル撮影

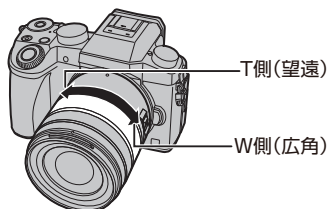


ローアングル撮影



ズーム操作

交換レンズ(H-FS14140)の場合
レンズのズームリングを回す

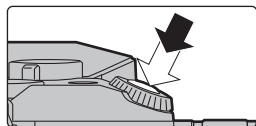


シャッターボタン(写真の撮影)

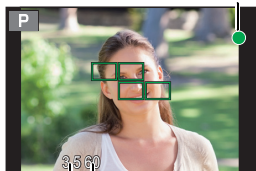
シャッターボタンは2段階になっています。押すことで写真の撮影を行います。

シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- 暗い環境ではフォーカス表示が[●_{LOW}]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [●_{LOW}]を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空AFが働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が[●_{STAR}]と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。
(星空AFで検知できるのは、画面中央の約1/3の範囲のみになります)



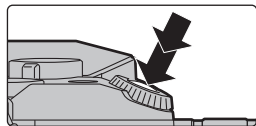
フォーカス表示



絞り値 シャッタースピード

シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

- お買い上げ時は、[フォーカス/リリース優先] (P78)が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。



交換レンズ(H-FS14140) 装着時

0.3 m~∞[撮像面から](焦点距離 14 mm~21 mm)
0.5 m~∞[撮像面から](焦点距離 22 mm~140 mm)

- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

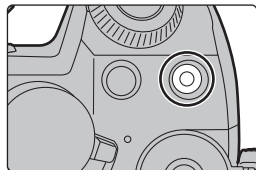
動画ボタン(動画の撮影)

動画ボタンを押すことで、動画撮影の開始と終了の操作を行います。

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

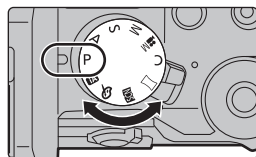
もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



モードダイヤル(撮影モードの選択)

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



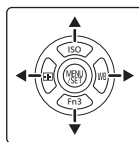
	インテリジェントオートモード(P28) カメラにおまかせで撮影します。
	インテリジェントオートプラスモード(P29) インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P	プログラムAEモード(P31) カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A	絞り優先AEモード(P32) 絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード(P32) シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード(P32) 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
	クリエイティブ動画モード(P36) 絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。 ※写真撮影はできません。
C	カスタムモード(P37) あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
	パノラマモード(P34) パノラマの写真を撮影します。
	シーンガイドモード(P34) 撮影シーンに合わせて撮影します。
	クリエイティブコントロールモード(P35) 画像効果を確認しながら撮影します。

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。


- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。
- ファンクションボタンに[カーソルボタンロック]を設定することで、カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にできます。




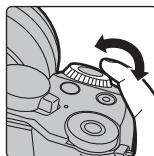
前ダイヤル / 後ダイヤル

回す: 各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

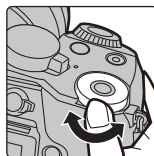
- 本書では前ダイヤル/後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例: 前ダイヤルを左右に回すとき: 

例: 後ダイヤルを左右に回すとき: 





前ダイヤル



後ダイヤル

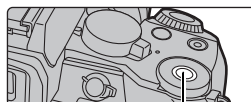
P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	 前ダイヤル	 後ダイヤル
P (P31)	プログラムシフト	プログラムシフト
A (P32)	絞り値	絞り値
S (P32)	シャッタースピード	シャッタースピード
M (P32)	絞り値	シャッタースピード

- カスタムメニューの[ダイヤル設定]で、前ダイヤルと後ダイヤルの操作方法を変更できます。(P79)

前後のダイヤルの割り当てを一時的に変更する(ダイヤル動作切換)

ファンクションボタンの[ダイヤル動作切換]を使うと、一時的に前後のダイヤルの割り当てを変更することができます。お買い上げ時は、[Fn11]に[ダイヤル動作切換]が設定されています。(P27)



ファンクションボタン(Fn11)

撮影シーンとお勧め設定

窓の近くなど光源や明暗差が複雑なシーン	フラッシュ撮影時
<ul style="list-style-type: none"> ●前ダイヤル: ホワイトバランス ●後ダイヤル: ISO 感度 前ダイヤルの[ホワイトバランス]で色合いを選び、後ダイヤルの[ISO感度]でシャッタースピードやノイズの量を見ながらISO感度を選ぶ設定です。(お買い上げ時の設定です)	<ul style="list-style-type: none"> ●前ダイヤル: フラッシュモード ●後ダイヤル: フラッシュ光量調整 前ダイヤルの[フラッシュモード]でフラッシュの発光のしかたを選び、後ダイヤルの[フラッシュ光量調整]でフラッシュ光の強さを微調整する設定です。

- 一時的に前後のダイヤルに割り当てる項目は、カスタムメニューの[ダイヤル設定]の[ダイヤル動作切換設定]で設定できます。(P79)

1 [Fn11] ボタンを押す

- 前後のダイヤルに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。

2 ガイドが表示されている間に、前後のダイヤルを回す

- 回したダイヤルに割り当てた設定を変更します。続けてもう一方のダイヤルを回すと、もう一方の設定を変更します。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、決定する

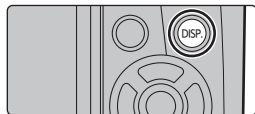
- 撮影画面が表示され、ダイヤルの割り当ては元に戻ります。
- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
 - シャッターボタンを半押しする
 - [Fn11] ボタンを押す

- 前後のダイヤルの一時的な割り当ての操作は、ガイドの表示中(手順1)や設定画面(手順2)でのみ有効です。操作の途中でメニューを表示したり、電源を切ったりすると、割り当ては元に戻ります。



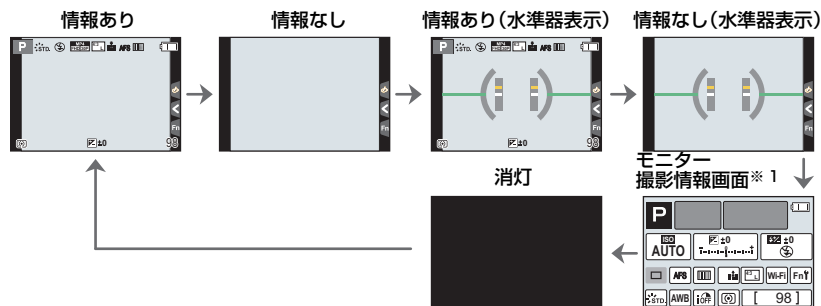
[DISP.]ボタン(表示情報の切り換え)

[DISP.]ボタンを押すと、画面の表示情報が切り換わります。



撮影時

●画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)

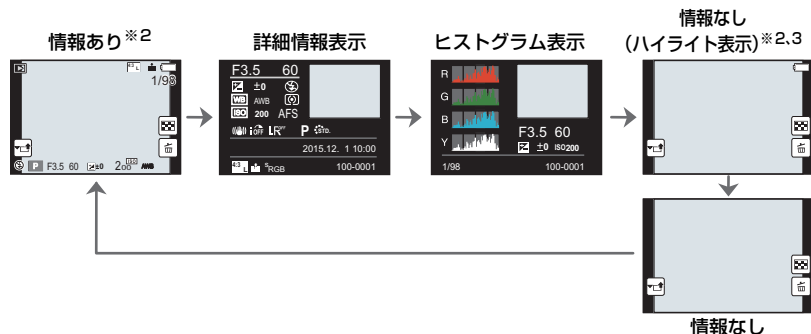


※1 カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

●約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

再生時

●画面は以下のように切り換わります。



※2 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

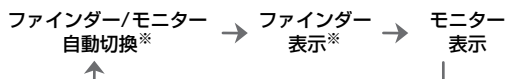
※3 カスタムメニューの[ハイライト表示](P78)を[ON]にしているときのみ表示されます。

[LVF] ボタン(モニターとファインダーの切り換え)

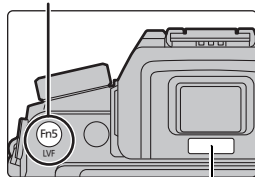
[LVF] ボタンを押すと、モニターとファインダーの表示が切り換わります。

[LVF] ボタンを押す

- 以下のように切り換わります。



[LVF] ボタン

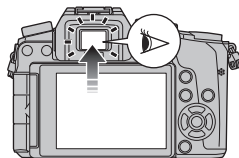


アイセンサー

※ カスタムメニューの[アイセンサー-AF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。(P78)

■ ファインダー/モニター自動切換について

ファインダー/モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換えます。



タッチパネル(タッチ操作)

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。



■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを 2 本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。





タッチ機能を使って撮る


タッチシャッター機能を使って撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  **C**  

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1  をタッチする


2  をタッチする

- アイコンが  に変わり、タッチシャッター撮影が可能なる状態になります。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。

■ タッチシャッター機能を解除するには

 をタッチする





準備・基本


狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  **C**  

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1  をタッチする

2  をタッチする


- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の  に変わります。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。

4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除するには

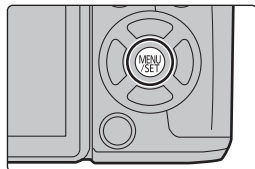
 をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。



メニューの設定方法

1 [MENU/SET] ボタンを押す



[📷] 撮影 (P76)	横縦比、画素数、4K フォトなどをお好みで設定できます。
[📹] 動画 (P77)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[f/c] カスタム (P78)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[⚙️] セットアップ (P79)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[▶] 再生 (P80)	画像の保護、切り抜き、プリントするとき便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



■ メニューを終了する

[🏠/🔍] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例) 撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

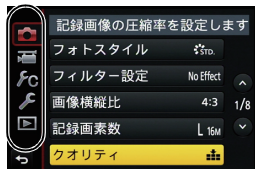
1 ◀ ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [⚙️] などのメニュー切り換えアイコン を選ぶ

- 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選べません。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

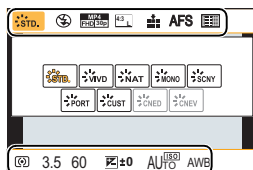
- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- 1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する
- 2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ
- 3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ
- 4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する



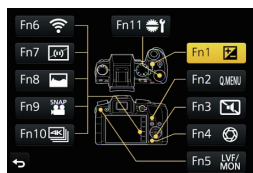
よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てることができます。

- 1 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン → **f_c** [カスタム] → [Fn ボタン設定]

- 2 ▲/▼ ボタンで [撮影時設定] または [再生時設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す





- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- [撮影時設定] で設定できる項目は、以下のとおりです。



<p>撮影メニュー/ 撮影機能</p> <ul style="list-style-type: none"> - 露出補正 (P43): [Fn1] * - Wi-Fi (P58): [Fn6] * - Q.MENU (上記): [Fn2] * - LVF / モニター切換: [Fn5] * - AF/AE LOCK - AF-ON - プレビュー: [Fn4] * - ワンタッチAE - タッチAE - 水準器表示: [Fn7] * - フォーカスエリア選択 - ズーム操作 - カーソルボタンロック - ダイヤル動作切換 (P22): [Fn11] * - フォトスタイル - フィルター選択 - 画像横縦比 - 記録画素数 	<ul style="list-style-type: none"> - クオリティ - AFS/AFF - 測光モード - 連写速度 - 4K フォト (P46): [Fn10] * - オートブラケット - セルフタイマー - ハイライトシャドウ - iDレンジコントロール - 超解像 - HDR - 電子シャッター - フラッシュモード - フラッシュ光量調整 - EX テレコン (写真・動画) - デジタルズーム - 手ブレ補正 - ISO感度 - ホワイトバランス 	<ul style="list-style-type: none"> - AF モード / MF - デフォルトに戻す <p>動画メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> - スナップムービー: [Fn9] * - 動画記録方式/画質設定 - 写真撮影 - マイク指向性調整 <p>カスタムメニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> - サイレントモード: [Fn3] * - ビーキング - ヒストグラム表示: [Fn8] * - ガイドライン表示 - ゼブラパターン表示 - モノクロライブビュー - 記録枠表示 - ステップズーム - ズーム速度 - タッチパネル
---	--	--

※ お買い上げ時のファンクションボタン設定

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:  

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)( 写真撮影時、 動画撮影時)



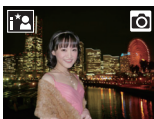
i 人物



i 風景



i マクロ



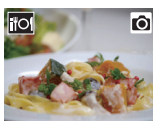
i 夜景&人物^{※1}



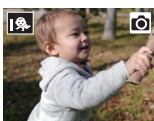
i 夜景



i 手持ち夜景^{※2}



i 料理



i 赤ちゃん^{※3}



i 夕焼け



i ローライト

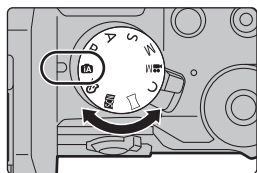


iA

- ※1 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。
- ※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定したときのみ表示されます。(P29)
- ※3 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。
- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- 4Kフォト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

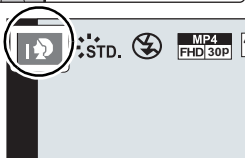
1 モードダイヤルを[iA]に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。(P29)



2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)



■ 自動で働く機能について

- カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。
 - 自動シーン判別/逆光補正/顔・瞳認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/iDレンズコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/回折補正/クイックAF/AF補助光

■ オートフォーカス/顔・瞳認識/個人認証

オートフォーカスモードは自動で[AF]に設定されます。被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。カーソルボタンの◀を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾 AF 機能に切り換わります。

- [iAF]、[iAF]、[iAF] のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。(顔・瞳認識)



■ フラッシュ

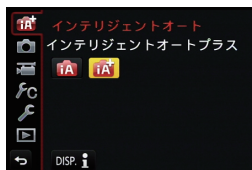
フラッシュを閉じているときは[☺]に、開いているときは[閃A] (オート) に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[閃A]、[閃A] (赤目軽減オート)、[閃A] または [閃A] に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P50)

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

インテリジェントオートモードは主要な機能が自動設定されるので、難しい設定は不要で撮影できます。より気軽に撮りたいときは、インテリジェントオートモードをお使いください。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ◀ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで [閃A] または [閃A] タブを選び
- 4 ▶ ボタンで [閃A] または [閃A] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



- [DISP.] ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。

手持ちで夜景を撮る (i手持ち夜景)

[i手持ち夜景] を [ON] に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に [閃A] と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し 1 枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン → [撮影] → [i手持ち夜景] → [ON]/[OFF]



階調豊かな写真に合成する (iHDR)

[iHDR] を [ON] に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン → [撮影] → [iHDR] → [ON]/[OFF]

背景をぼかして撮る(ポケ味コントロール)

撮影モード:  

背景のポケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。


1 [Fn4] ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回してポケ具合を設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ポケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。



明るさや色合いを変えて撮る


撮影モード: 

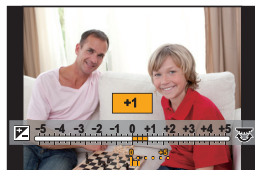
カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

1 [] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する

- もう一度 [] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



色合いを設定する

1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る(プログラム AE モード)

撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



撮る

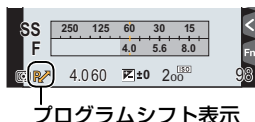
プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。



絞り値/シャッタースピードを決めて撮る

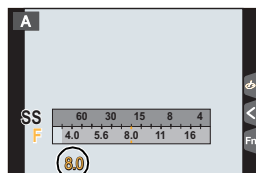
撮影モード: [A][S][M]

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P33)
- 前後のダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

A: 絞り優先AE モード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

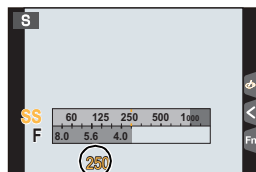
- 1 モードダイヤルを [A] に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する



S: シャッター優先AE モード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

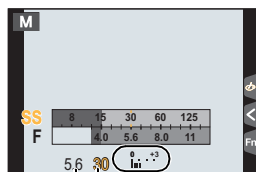
- 1 モードダイヤルを [S] に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

- 1 モードダイヤルを [M] に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する






絞り値 マニュアル
 露出アシスト
シャッタースピード



シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

ISO感度を[AUTO]に設定時、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるように、ISO感度をカメラが自動的に設定します。

💡 マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約120秒間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- 電子シャッター使用時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。
- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をお勧めします。

fc 撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する/しない

MENU ボタン → fc [カスタム] → [常時プレビュー(Mモード)] → [ON]/[OFF]

- フラッシュ使用時は働きません。フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C**  

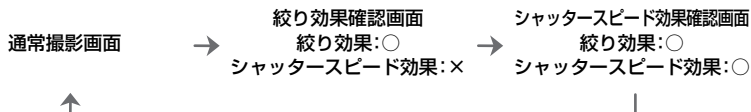
プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P27)


- 次の手順は、[Fn4]に[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn4] ボタンを押して確認画面を切り換える

- [Fn4] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

撮影モード: 

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

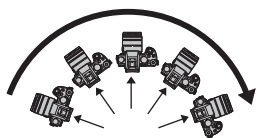
1 モードダイヤルを [] に合わせる

- 撮影方向を確認する画面が表示されたあと、水平/垂直ガイドが表示されます。

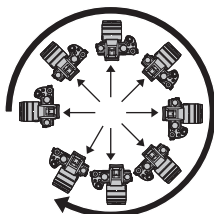
2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



画像サイズ:標準の場合



画像サイズ:ワイドの場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する


- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■ パノラマ写真の撮影方向や画角(画像サイズ)を変更する

MENU ボタン →  [撮影] → [パノラマ設定]

撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角(画像サイズ)を設定します。 [標準]: 画質を優先した設定です。 [ワイド]: 画角を優先した設定です。 ● 同じ画角を撮影した場合、[標準]で撮影すると記録画素数が大きくなります。

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

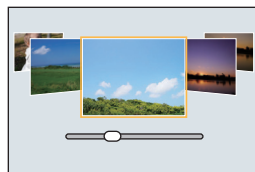
撮影モード: 

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

- 作例写真やスライダーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

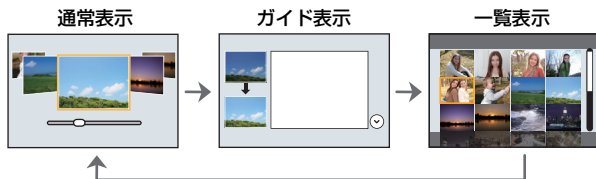


3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ シーンを選ぶ画面の表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示に切り換えると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。



画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

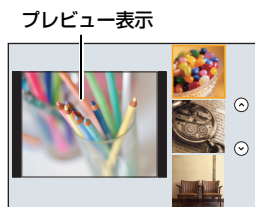
撮影モード:

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [] に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。



3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面の表示を切り換えるには


[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。



絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る


(クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを  に合わせる

2 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定]

3 ▲/▼ ボタンで [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを **P / A / S / M** のいずれかに合わせたとときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。


動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。




メニューを設定する (P26)

MENU ボタン →  [動画] → [タッチ静音操作] → [ON]

1 撮影を開始する





2  をタッチする

3 アイコンをタッチする

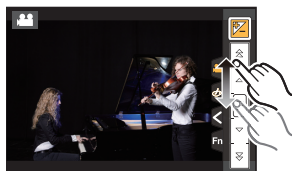
- : ズーム (パワーズーム対応交換レンズ使用時) / **[F]**: 絞り値 / **[SS]**: シャッタースピード / : 露出補正 / **[ISO]**: ISO 感度 / : マイクレベル設定

4 スライダーをドラッグして設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

 /[	ゆっくり設定を変える
 /[	速く設定を変える

5 撮影を終了する



お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード)

撮影モード: **C**

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を [カスタムセット登録] で3つまで登録しておくことができます。(C1、C2、C3)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン → f_c [カスタム] → [カスタムセット登録]

2 ▲/▼ ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録] で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを [C] に合わせる

- 最後に使ったカスタムセット ([C1]、[C2] または [C3]) が呼び出されます。

■ カスタムセットを変更する場合は

1 モードダイヤルを [C] に合わせる

2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する

3 ◀/▶ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を変更した場合は

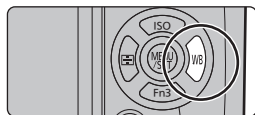
モードダイヤルを **C** に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの [カスタムセット登録] で登録内容を上書きしてください。

ホワイトバランスを調整する

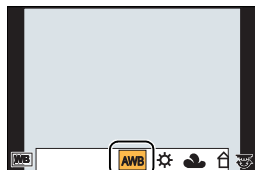
使えるモード：       









太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶ (WB) ボタンを押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



	自動調整
	晴天の屋外での撮影時
	曇りの屋外での撮影時
	屋外の晴天下の日陰での撮影時
	白熱灯下での撮影時
	フラッシュ光のみでの撮影時
	<p>ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。</p> <ol style="list-style-type: none">▲ ボタンを押す白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none">ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。シャッターボタンを押すことでも、同じ操作ができます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。
	<p>撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。</p> <ol style="list-style-type: none">▲ ボタンを押す▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す <p>[2500K]~[10000K]まで設定できます。</p>

※ 動画撮影中、4K フォト撮影時は [AWB] の動作になります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C**

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。

記録画素数を設定する

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C**

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比：[4:3]のとき

設定	画像サイズ
L(16M)	4592×3448
EXM(8M)	3232×2424
EXS(4M)	2272×1704

画像横縦比：[3:2]のとき

設定	画像サイズ
L(14M)	4592×3064
EXM(7M)	3232×2160
EXS(3.5M)	2272×1520

画像横縦比：[16:9]のとき

設定	画像サイズ
L(12M)	4592×2584
EXM(8M)	3840×2160
EXS(2M)	1920×1080

画像横縦比：[1:1]のとき

設定	画像サイズ
L(11.5M)	3424×3424
EXM(6M)	2416×2416
EXS(3M)	1712×1712

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C**

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ]

画質とサイズを設定する (続き)

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW	RAW+ JPEG	RAW 画像とJPEG 画像(または)を同時に記録できます。*1
RAW		
RAW	RAW	RAW 画像のみを記録できます。*2 [RAW]は[RAW]または[RAW]よりも小さいデータ容量で記録できます。

*1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

*2 各画像横縦比の最大記録画素数(L)に固定されます。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像することができます。(P56)
- パソコンでのRAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。

自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

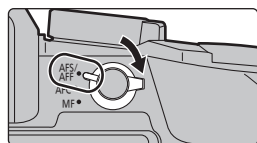
被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードやオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

フォーカスモードを選ぶ(AFS、AFF、AFC)

使えるモード:

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

フォーカスモードレバーを[AFS/AFF]または[AFC]に合わせる



項目	被写体の動き、撮影シーン(お勧め)/内容	
AFS/AFF	AFS (Auto Focus Single)	静止している(風景、記念撮影など) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
	AFF (Auto Focus Flexible)	動きが予測できない(子ども、ペットなど) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC (Auto Focus Continuous)	動いている(スポーツ、鉄道など) シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)	
MF	手動でピントを合わせます。(P42)	

■ フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] について

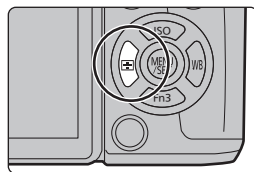
撮影メニューまたは動画メニューの [AFS/AFF] で、フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] に、[AFS] または [AFF] のいずれかを割り当てることができます。

オートフォーカスモードを選ぶ

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

- 1 ◀ () ボタンを押す
- 2 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮
る

(顔・瞳認識)	<p>人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を [] 設定時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検知できる顔は15個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。 	
(追尾)	<p>指定した被写体にピントを合わせます。被写体に露出を合わせます。([測光モード]を [] 設定時) 被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動物追尾)</p>	
(49点)	<p>最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。</p>	
など (カスタムマルチ)	<p>49点のAFエリアから、被写体に合わせてAFエリアを選ぶことで、自由にAFエリアの形状を設定できます。</p>	
(1点)	<p>AFエリア内にピントを合わせます。 ● AFエリアの位置と大きさを変えることができます。</p>	
(ピンポイント)	<p>[] より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。</p>	

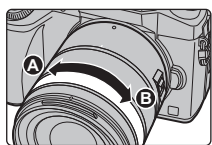
手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス)

使えるモード: P A S M C SCN

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS14140)をお使いの場合

- A 側に回す: 近くにピントを合わせる
- B 側に回す: 遠くにピントを合わせる

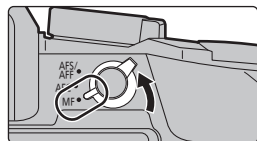


1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる

2 ◀() ボタンを押す

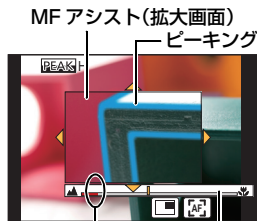
3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MF アシスト)
- [DISP.] ボタンを押すとピントを合わせる位置は中央に戻ります。



4 ピントを合わせる

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド)



以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え (画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す

5 シャッターボタンを半押しする

- アシスト画面が終了し、撮影画面が表示されます。
- [MENU/SET] ボタンを押すことでも、アシスト画面を終了できます。

ピントや露出を固定して撮る (AF/AEロック)

使えるモード:  P A S M  C  SCN 

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

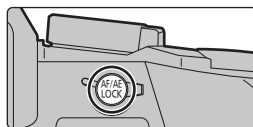
1 被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK]ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

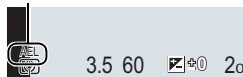
- [AF/AE LOCK]ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

3 [AF/AE LOCK]ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。



AEロック表示



撮る

露出を補正して撮る

使えるモード:  P A S M  C  SCN 

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 [Fn]ボタンを押す

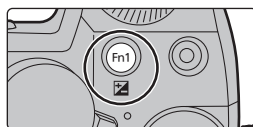
2 後ダイヤルを回して露出を補正する

- [DISP.]ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。
- 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。

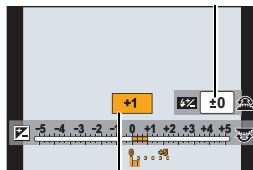
3 前ダイヤルを回してフラッシュ発光量を調整する

4 [Fn]ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



フラッシュ光量調整



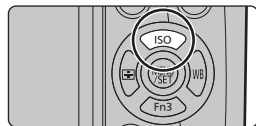
露出補正

ISO感度を設定する

使えるモード： P A S M C Fn Fn2 Fn3

光に対する感度 (ISO感度) を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲ (ISO) ボタンを押す



ISO感度上限設定

2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

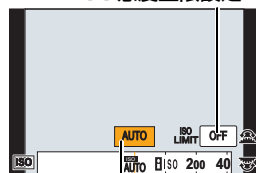
- [DISP.] ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。

3 前ダイヤルを回してISO感度の上限を設定する

- ISO感度が [AUTO] または [iISO] 時に働きます。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



ISO感度

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
iISO (インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。
200 ~ 25600	それぞれのISO感度に固定します。

シャッター方式を設定する (電子シャッター)

使えるモード： P A S M C SCN Fn

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッター スピード	B (バルブ)*1、60秒 ~ 1/4000秒	1秒*2 ~ 1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音

*1 マニュアル露出モード時のみ設定できます。(P32)

*2 ISO感度 [ISO3200] まで。[ISO3200] より高いときは、1秒より速くなります。

メニューを設定する (P26)

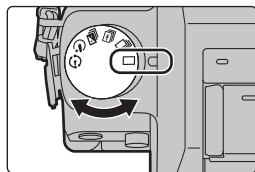
MENU ボタン → [撮影] → [電子シャッター]

ON	電子シャッター方式で撮影します。
OFF	メカシャッター方式で撮影します。






ドライブモードを選ぶ

使えるモード：

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。



ドライブモードダイヤルを回す

 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
 連写(P45)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
 4Kフォト(P46)	シャッターボタンを押すと4K フォトの撮影を行います。
 オートブラケット(P48)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
 セルフタイマー(P48)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
 インターバル/コマ撮り撮影	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

撮る

連写する

使えるモード：

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを [連写] に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度を変更する場合

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン →  [撮影] → [連写速度]

2 ▲/▼ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[SH](超高速)	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	メカシャッター	—	8 コマ/秒(AFS 時) 6 コマ/秒(AFC 時)	6 コマ/秒	2 コマ/秒
	電子シャッター	40 コマ/秒	10 コマ/秒	6 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり

- [連写速度] を [SH] に設定時は、記録画素数は [S] に固定されます。

4K フォトを撮る

使えるモード：   

シャッターボタンを押すと4Kフォトの撮影を行います。30コマ/秒の連写から一瞬を選び出し、約800万画素の写真を保存することができます。



① 4K フォトを撮る




② 写真を選び保存する



写真の完成

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P16)
- 4K フォト撮影時、画角が少し狭くなります。


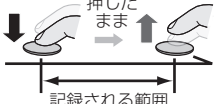






1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

- 4K フォトの撮影に最適な設定になります。お買い上げ時、撮影方法は [] (4K 連写) に設定されています。

2 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン →  [撮影] → [4K フォト]

3 ▲/▼ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す




 4K 連写	動きの速い被写体のベストな一瞬を捉えたいとき シャッターボタンを押している間、連写撮影します。 撮影中は、シャッター音が連続で鳴ります。 ●シャッターボタン全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。	 押したまま 記録される範囲
 4K 連写(S/S) S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	いつ起こるか分からないシャッターチャンスを捉えたいとき シャッターボタンを押すと連写撮影を開始します。もう一度押すと、連写撮影を終了します。開始音、終了音が鳴ります。	 開始 (1回目) 終了 (2回目) 記録される範囲
 4K プリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき シャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写撮影します。シャッター音が 1 回だけ鳴ります。 ●ドライブモードを 4K フォトにし、[4K フォト] を [] (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ [] (4K プリ連写) に設定してください。	 約 1 秒 約 1 秒 記録される範囲

4 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。

5 シャッターボタンを押して撮影する



 (4K 連写)	① シャッターボタンを半押しする ② 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする
 (4K 連写(S/S))	① シャッターボタンを全押しする ② もう一度、シャッターボタンを全押しする
 (4K プリ連写)	① シャッターボタンを全押しする

- 4K 連写ファイルが保存されます。4K 連写ファイルは、MP4 形式の動画で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選び画面が自動で表示されます。

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

- 再生画面で4K連写ファイル(📷)を選び、▲を押す
 - 写真を選ぶスライドビュー画面が表示されます。表示されるまでに数秒間かかります。
- タッチしてからドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

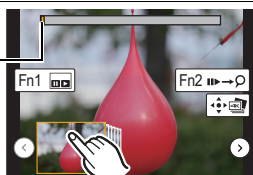


【📷】(4K連写(S/S))で撮影時などの連写時間が長い4K連写ファイルから選ぶ場合は、4K連写再生画面でおおまかにシーンを選んでから、スライドビュー画面で選ぶことをお勧めします。

- 【📷】(4Kプリ連写)で撮影した4K連写ファイルの場合、スライドビュー画面のみの表示になり、画面も一部異なります。

<スライドビュー画面>

表示中のコマの位置
タッチするとタッチした
位置のコマを表示します

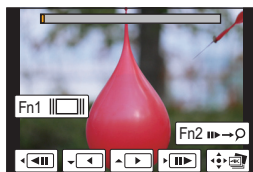


ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	タッチ→ドラッグ	コマの選択
◀/▶ で ◀/▶ を選択 → [MENU/SET]	◀/▶	前または後のコマ(45枚)をスライドビューで表示 ● 続けて押すと、さらに前または後を表示します。
[Fn1]	📷	4K連写再生画面を表示
[MENU/SET]	📷	写真の保存

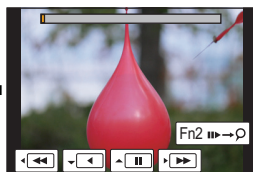
- [◀],[▶]を選んだときなど、スライドビューが表示し直される場合は、表示されるまでに数秒間かかります。

<4K連写再生画面>

一時停止中



連続再生中



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/	連続再生/一時停止(連続再生中)
▼	◀/	連続戻し再生/一時停止(連続戻し再生中)
▶	▶▶/ ▶▶	早送り再生/コマ送り(一時停止中)
◀	◀◀/ ◀◀	早戻し再生/コマ戻し(一時停止中)
[Fn1]		スライドビュー画面を表示(一時停止中)
[MENU/SET]	📷	写真の保存(一時停止中)

3 [MENU/SET] ボタンを押し、写真を保存する

- 4K連写再生画面では、一時停止中に操作してください。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。写真は JPEG 形式で保存されます。

4K フォトには、写真にするときの目印になるマーカーなどの機能もあります

- さらに詳しい説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)や「4K PHOTO かんたんガイド」(別紙)をお読みください。

露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)

使えるモード:

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。



■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン → [撮影] → [オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写/連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード:

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして
ピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン → [撮影] → [セルフタイマー]

2 ▲/▼ ボタンでモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す


	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)




使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C**  

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使おうと便利です。

メニューを設定する(P26)

MENU ボタン →  [カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

- スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
 - [電子シャッター]: [ON] - [電子音音量]: [] (OFF)
 - [フラッシュモード]: [] (発光禁止) - [電子シャッター音音量]: [] (OFF)
 - [AF 補助光]: [OFF]
- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。
 - 電源表示ランプ - Wi-Fi 接続ランプ
 - セルフタイマーランプ
- レンズの絞り音などの動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。


撮
る

手ブレを補正する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C**  

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。



- 交換レンズ(H-FS14140)には、手ブレ補正機能があります。
- O.I.S.スイッチがある交換レンズ(H-FS14140など)の場合、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。(お買い上げ時は[])に設定されています)

■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン →  [撮影] → [手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。
OFF	手ブレ補正は働きません。(O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます)

望遠効果を上げる

使えるモード： P A S M C

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時	[EX テレコン(写真)]	1.2倍:[EX M]([16:9]) 1.4倍:[EX M]([4:3],[3:2],[1:1]) 2.0倍:[EX S]([4:3],[3:2],[16:9],[1:1])
●記録画素数を[M]または[S]([EX]付きの記録画素数)に、クオリティを[]または[]に設定してください。		
動画撮影時	[EX テレコン(動画)]	2.4倍([画質設定]のサイズが[FHD]の動画) 3.6倍([画質設定]のサイズが[HD]の動画) 4.8倍([画質設定]のサイズが[VGA]の動画)

■ズーム倍率を段階的に拡大する

●写真撮影時のみ使えます。

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

2 ファンクションボタンに [ズーム操作] を設定する(P27)

●次の手順は、[Fn1]に[ズーム操作]を設定した場合の例です。

3 [Fn1] ボタンを押す

4 ◀/▶ ボタンまたは ▲/▼ ボタンを押す

▲/▶ ボタン:T側(望遠、大きく撮る) ▼/◀ ボタン:W側(広角、広く撮る)

●もう一度 [Fn1] ボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。

■ズーム倍率を最大に固定する

メニューを設定する(P26)

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]

MENU ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

フラッシュを使って撮る

使えるモード： P A S M C

■内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

① 開くとき

フラッシュオープンボタンを押す

② 閉じるとき

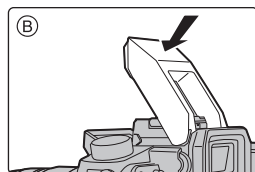
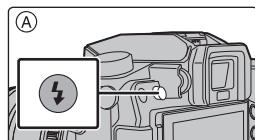
フラッシュをカチッと音がするまで押す

●無理に閉じようとすると故障の原因になります。

●使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。

●フラッシュを閉じているときは、[]に固定されます。

●フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。



以下の場合、発光禁止 ([🚫]) に固定されます

- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- 電子シャッター使用時
- [HDR]を[ON]に設定時
- [サイレントモード]を[ON]に設定時
- [フィルター設定]の[フィルター選択]で画像効果設定時

フラッシュモードを切り換える

使えるモード：

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
: 赤目軽減強制発光	● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。 フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
: スローシンクロ : 赤目軽減スローシンクロ	● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

動画を撮る

使えるモード：

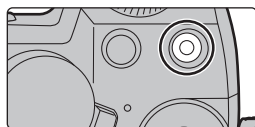
AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。MP4では4K動画も撮影できます。(P52) 音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報の一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。
- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。



記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間

■ フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

MENU ボタン → [動画] → [記録方式]

AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

MENU ボタン → [動画] → [画質設定]

[AVCHD] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/28M/60p [*]	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/17M/60i	1920×1080	60i	60コマ/秒	17 Mbps
FHD/14M/30p	1920×1080	60i	30コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/24p	1920×1080	24p	24コマ/秒	24 Mbps

^{*} AVCHD Progressive

[MP4] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p	3840×2160	30p	30コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p	3840×2160	24p	24コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps
VGA/4M/30p	640×480	30p	30コマ/秒	4 Mbps

4K 動画を撮る

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C**

[画質設定]のサイズが[4K]の動画で記録することで、きめ細かい4K動画を撮影することができます。

- 4K動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P16)
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。

4K動画を撮影するには

- ① 動画メニューの[記録方式]を[MP4]に設定する
- ② 動画メニューの[画質設定]を[4K/100M/30p]または[4K/100M/24p]に設定する
- ③ 動画ボタンを押して撮影を開始する
- ④ もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスが合いにくいことがありますが、異常ではありません。

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ ▶:次の画像へ



Web サービスへの送信について

画像を1枚ずつ表示中、▼ ボタンを押すと手軽にWeb サービスへ送ることができます。
(詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください)

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

- 動画には動画アイコン(🎥)が表示されます。

▲ ボタンを押して再生する



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生* ¹
	◀	コマ戻し(一時停止中)* ²
	—	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生* ¹
	▶	コマ送り(一時停止中)
	+	音量を上げる

※1 もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

※2 [AVCHD]で撮影した動画は、約 0.5 秒毎のコマ戻しになります。

- 一時停止中に[MENU/SET] ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。

動画

見る

再生方法を切り換える

再生画面を拡大する(再生ズーム)

後ダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、後ダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P24)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
- 再生ズーム中に前ダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。



複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

後ダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー画面表示

- 後ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
 - ・[]: 1画面
 - ・[]: 12画面
 - ・[]: 30画面
 - ・[CAL]: カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。



■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

- 1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する
- 4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



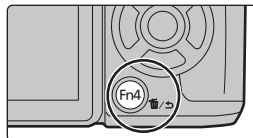
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

1 枚消去

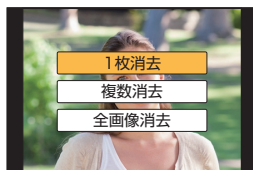
1 再生状態で消去する画像を選び、[画] ボタンを押す

- [画] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で [画] ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[画]が表示されます。もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。



4 ([複数消去]選択時)◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

再生メニューを使う

RAW 現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真はJPEG形式で保存されます。

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン → [再生] → [RAW 現像]

2 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ



ホワイトバランス
露出補正
フォトスタイル
iD レンズコントロール
コントラスト
ハイライト
シャドウ

彩度 / 色調
フィルター効果
ノイズリダクション
超解像
シャープネス
設定
([調整前に戻る]/[色空間]/[記録画素数])

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順3の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順3から5を繰り返してください。

6 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

■ 各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示([ホワイトバランス]の[OK]選択時のみ)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示([ホワイトバランス]選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

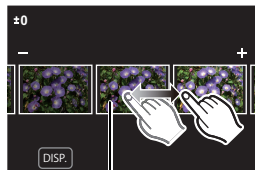


- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス]選択時、比較画面の表示はできません。

- 2回タッチすると拡大表示されます。拡大時に2回タッチすると元の表示に戻ります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[◀]をタッチすると元の表示に戻ります。

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻る]、[色空間]、[記録画素数]の選択画面が表示されます。

- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [調整前に戻る]を選択時、確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。
- ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

1 メニューを設定する(P26)

MENU ボタン → [再生] → [動画分割]

2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

- 一時停止中に ◀/▶ ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

Wi-Fi[®] 機能でできること

スマートフォン/タブレットとつないで使う (P59)

- スマートフォンで撮影する (P61)
- カメラの画像を再生する (P62)
- カメラの画像を保存する (P62)
- 画像を SNS へ送信する (P62)
- 位置情報をカメラの画像に書き込む (P63)
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する (P63)



- テレビに写真を映す
- ワイヤレスでプリントする
- AV 機器に画像を送る
- パソコンに画像を送る (P64)
- Web サービスを利用する



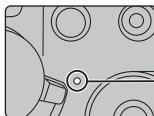
- 以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。
- 3G や LTE 等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

Wi-Fi 機能について

■ ご使用の前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P18)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi 接続ランプ

- 青色点灯: Wi-Fi 接続の待機中
- 青色点滅: Wi-Fi 接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。(お買い上げ時は、[Fn6] に [Wi-Fi] が設定されています)

- ファンクションボタンについて詳しくは 27 ページをお読みください。

[Wi-Fi] ボタンを押す操作

- ① [Fn] をタッチする
- ② [Wi-Fi] をタッチする



Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す (スマートフォンと接続時)

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報が表示されます。(P60)
- [DISP.] ボタンを押すと、以下の項目を選択できます。



新規に接続する	—
履歴から接続する	以前と同じ設定で接続します。 履歴をお気に入り登録する ① 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す ② 登録名を入力する
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

接続を終わる	画像の送信設定を変える	ネットワークアドレス表示
接続先を変える	今の接続先をお気に入りに入れる	


- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

- 対応 OS Android™: Android 4.0 以上
 iOS: iOS 6.0以上(ただしiPhone 3GSには対応していません)

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App StoreSM」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2015 年 5 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G や LTE 等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する

iOS機器(iPhone、iPod touch、iPad)、Android機器 共通

パスワードを入力せずに接続する

パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。

1 カメラのメニューを設定する(P26)

MENU ボタン → **⌘** [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報(SSID)が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押すことでも表示できます。



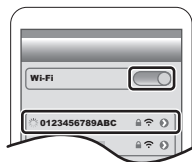
SSID

2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする

3 スマートフォンのWi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ

4 スマートフォンで「Image App」を起動する

- カメラに接続確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。(初回接続時のみ)



- お買い上げ時は[Wi-Fiパスワード]が[OFF]に設定されているため、第三者によってWi-Fiの電波を傍受され、通信内容を盗み取られるおそれがあります。パスワードを利用するには、[Wi-Fiパスワード]を[ON]に設定してください。(下記)

iOS機器(iPhone、iPod touch、iPad)、Android機器 共通

パスワードを入力して接続する

準備: [Wi-Fiパスワード]を[ON]に設定する。

(**MENU** ボタン → **⌘** [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [Wi-Fiパスワード] → [ON])

1 カメラのメニューを設定する(P26)

MENU ボタン → **⌘** [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

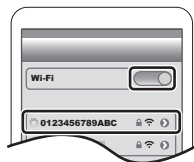
- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報(QRコード、SSID、パスワード)が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押すことでも表示できます。

2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする

3 スマートフォンのWi-Fi設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ

4 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する

- Android機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。



SSID、
パスワード
QRコード

5 スマートフォンで「Image App」を起動する

- QRコードを使って接続することもできます。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

iOS機器 (iPhone、iPod touch、iPad)、Android機器 共通

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

1 カメラのメニューを設定する (P26)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。(P59)

2 スマートフォンで「Image App」を終了する

(iOS 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

(Android 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

1 スマートフォンと接続する (P60)

2 スマートフォンを操作する

① を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

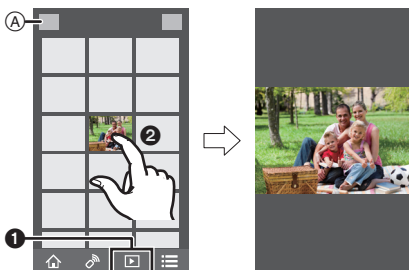


カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P60)

2 スマートフォンを操作する

- ① [▶] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。
- ② 画像をタッチして拡大する

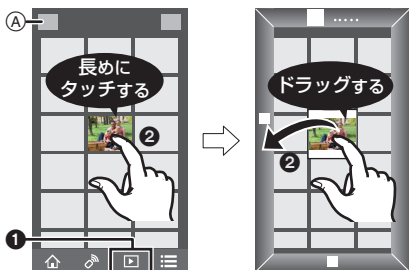


カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P60)

2 スマートフォンを操作する

- ① [▶] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。
- ② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する



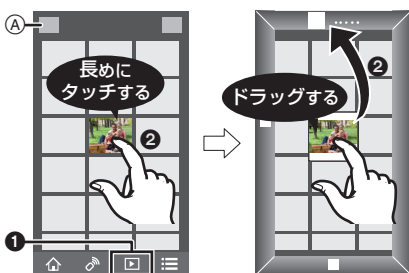
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- RAW形式の写真、[AVCHD]、[画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画、4K連写ファイルは保存できません。
- 3D写真(MPO形式)は、2D写真(JPEG形式)で保存されます。

カメラの画像をSNSへ送信する

1 スマートフォンと接続する (P60)

2 スマートフォンを操作する

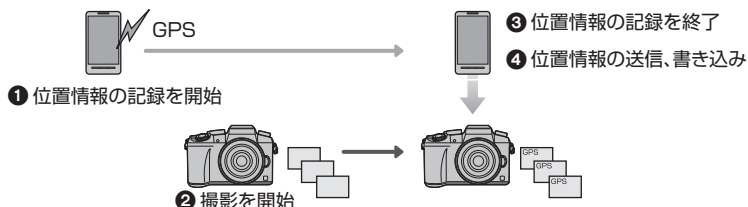
- ① [▶] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。
- ② 画像を長めにタッチし、ドラッグしてSNSなどに送信する
 - SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。





- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

スマートフォン/タブレットからカメラの画像に位置情報を追加する



スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後に位置情報をカメラの画像に書き込むこともできます。



■ スマートフォンを操作する

- 1 スマートフォンと接続する(P60)
- 2 []を選ぶ
- 3 []を選ぶ
- 4 アイコンを選ぶ




	位置情報の記録を開始/停止します。 <ul style="list-style-type: none">● 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。位置情報記録を使用しない場合は、位置情報の記録を停止してください。
	位置情報の送信、書き込みを行います。 <ul style="list-style-type: none">● 画面のメッセージに従って、操作してください。● 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。

スナップムービーで撮影した動画をスマートフォン/タブレットでお好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの[スナップムービー]で撮影した動画をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。

- 1 スマートフォンと接続する(P60)
- 2 スマートフォンを操作する



- ① []を選ぶ
- ② [スナップムービー]を選ぶ
 - [スナップムービー]で撮影した動画のうち、日付の新しいものから、自動でスマートフォンに送信されます。
 - 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。
- ③ 動画を編集する
 - [Image App]の[スナップムービー]の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

- [Image App]の[スナップムービー]は、Android OS 4.3以上に対応している必要があります。
- [Image App]の[スナップムービー]は、iPhone 4、iPod touch(第4世代)には対応していません。

無線アクセスポイントを経由して パソコンと接続する

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合 (Windows をお使いの場合)

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは 67 ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書 (PDF ファイル)をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合 (Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.10

例) OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

接続方法の一例を紹介しています。その他の接続方法について詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

準備

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。

1 メニューを設定する (P26)

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]

2 送信方法を選ぶ

- 受信するフォルダーを設定しておく必要があります。(上記)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

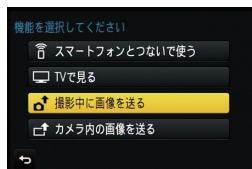
写真を撮るたびに、パソコンに自動で画像を送ることができます。

- 送信できる画像形式: JPEG/RAW/MPO

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

撮影後に画像を選んでパソコンに送ることができます。

- 送信できる画像形式: すべての画像形式



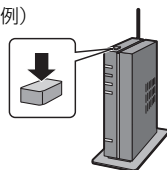
3 [PC]を選ぶ

4 接続方法を選ぶ

[WPS(プッシュボタン)] で接続する例


- ① [ネットワーク経由] を選ぶ
- ② [WPS(プッシュボタン)] を選ぶ
- ③ 無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPS ボタンを押す

(例)



5 (目的に応じて)カメラを操作する

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
 - ② 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ
 - ③ カメラで撮影する
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
 - ② 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ
 - ③ [1 枚選択] または [複数選択] を選び、送信したい画像を選ぶ
- 画像送信後の画面で、送信設定を変更する場合は [DISP.] ボタンを押してください。接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。

* 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名 (Apple社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) を入力してください。

- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名 (Apple社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) にスペース (空白文字) などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名 (Apple社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) に変更することをお勧めします。

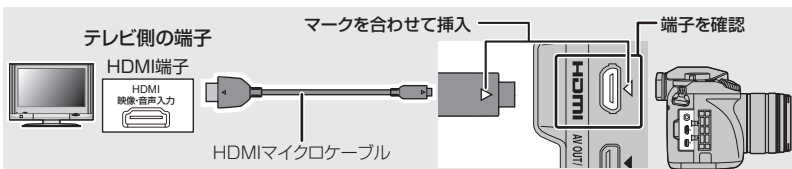
テレビで見る

準備: 本機の電源スイッチを [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機とテレビをつなぐ

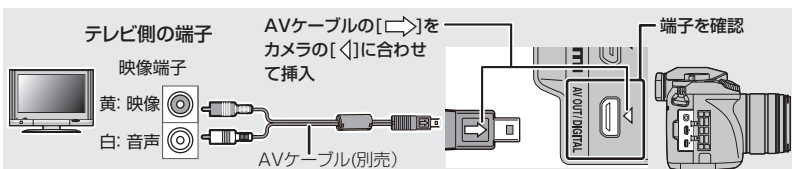
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にするると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI マイクロケーブルで接続する場合



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。

AV ケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: DMW-AVC1

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [ピエラリンク]を [ON] に設定して、HDMI マイクロケーブルでピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。

● テレビの説明書もお読みください。

写真や動画をパソコンに残す

■ 使用できるパソコン

マストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.10



AVCHD 動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windows の場合、AVCHD 動画は必ず CD-ROM (付属) の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできません。(iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.7 PE

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio 4.3 SE

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1、
Mac OS X v10.6～v10.10)

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトウェアポロトリーのサポートサイト

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30 日間フル体験版

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Web サイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト: <http://loilo.tv/product/20>

■ ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応OS	Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ディスプレイ	1024x768以上(1920x1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows Vista®	512 MB以上
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

- 4K動画を編集するとき、Windows 7/Windows 8/Windows 8.1の64 bit版が必要です。
- その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。
- 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、67ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

3 [アプリケーション]をクリックする

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Macでは、SILKYPIXを手動でインストールすることができます。

① CD-ROMを入れる

② CD-ROMの「Application」フォルダーをダブルクリックする

③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする

④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

🚫 こんなときは使えません

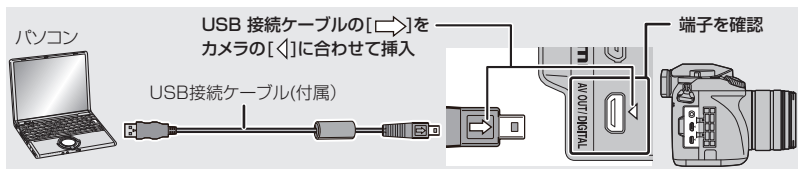
- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

■ パソコンに画像を取り込む

準備:お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC]に設定しておく、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

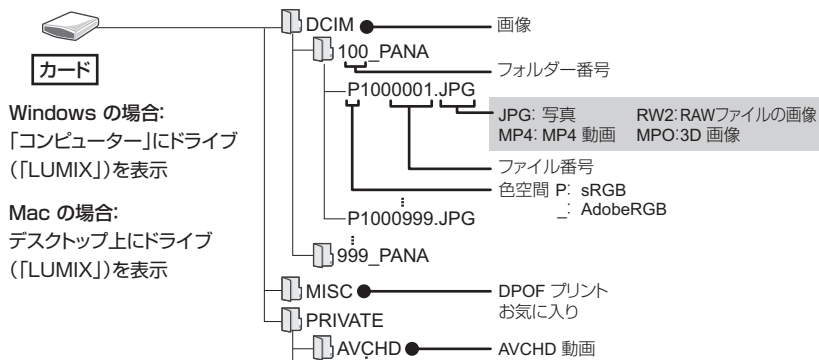
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

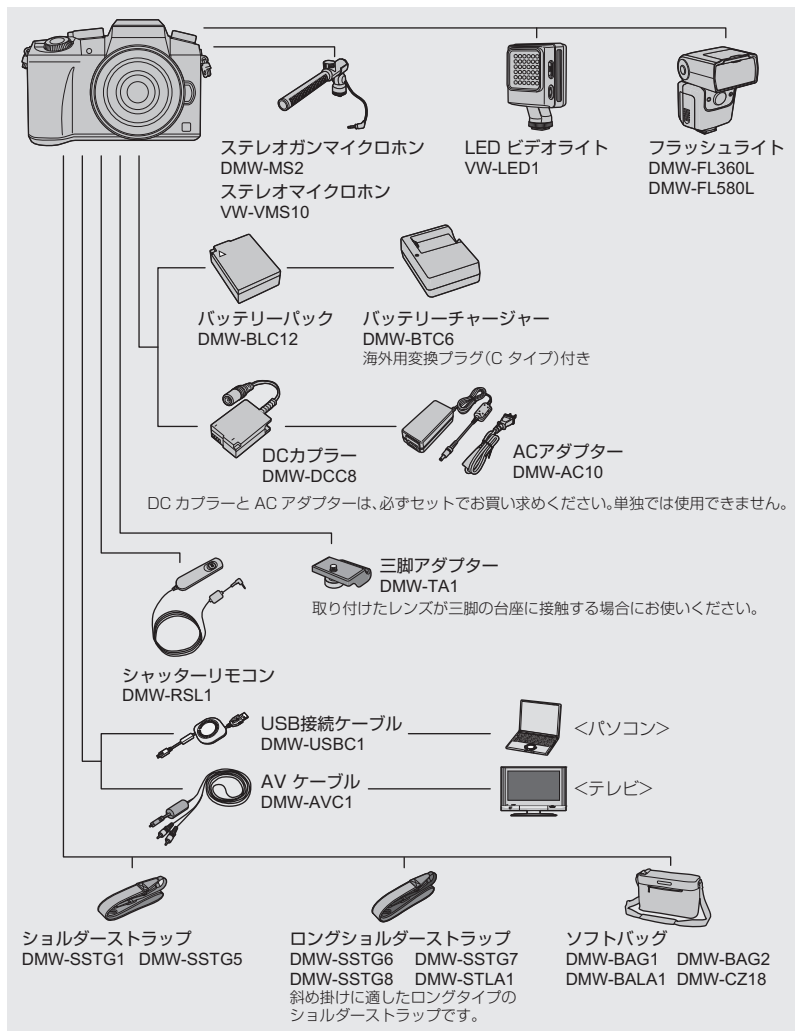
■ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

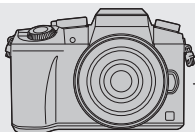
「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

- 本機のカードの中(フォルダー構造)は以下ようになります。



別売品のご紹介





ボディキャップ
DMW-BDC1



交換レンズ
H-FS14140



MCプロテクター
DMW-LMCH58



NDフィルター
DMW-LND58



PLフィルター
(サーキュラータイプ)
DMW-LPL58



レンズキャップ
DMW-LFC58



レンズリアキャップ
DMW-LRC1



ズームアシストレバー
DMW-ZL1

交換レンズ

H-PS45175	H-PS14042	H-VS014140	H-FS14140	H-HS35100
H-HS12035	H-FS45150	H-FS100300	H-FS045200	H-FS35100
H-FS1442A	H-FS014045	H-FS12032	H-F007014	H-F008
H-ES045	H-HS030	H-NS043	H-X025	H-X015
H-HS043	H-H020A	H-H014A		



3D交換レンズ
H-FT012



マウントアダプター
DMW-MA1

<交換レンズ>
(フォーサーズマウント)



ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA2M

<交換レンズ>
(ライカMマウント)



ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA3R

<交換レンズ>
(ライカRマウント)

- 別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
記載の品番は2015年5月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

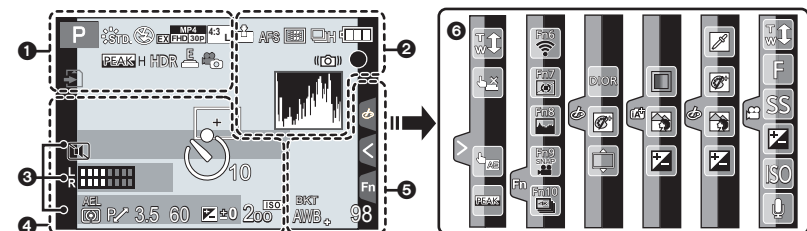
<http://jp.store.panasonic.com/>

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 画面はモニターで表示画面を [] (モニタースタイル) に設定時の例です。
- 再生時の画面については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

撮影時



1		
		撮影モード(P21)
		C 1 カスタムセット(P37)
		フォトスタイル(P76)
		フラッシュモード(P51)
		フラッシュ設定
		EXテレコン(動画時)(P50)
		記録方式/画質設定(P52)
		スナップムービー
		記録画素数/画像縦横比(P39)
		EXテレコン(写真時)(P50)
		画像サイズ(パノラマモード)(P34)
		画像効果(フィルター)調整表示
		画像効果(フィルター)種別
		カード(記録時のみ表示)
		記録経過時間*1(P51)
		同時記録表示
		ファインダー/モニター自動切換(P24)
		ピーキング(P42, 78)
		ハイライトシャドウ(P76)
		HDR(P76)/iHDR(P29)
		多重露出(P76)

2		デジタルズーム(P77)
		電子シャッター(P44)
		写真撮影(写真優先)(P77)
		温度上昇表示(P81, 82)
		クオリティ(P39)
		フォーカスモード(P40)
		オートフォーカスモード(P41)
		プリント送り
		個人認証(P77)
		AFL AFロック(P43)
		連写(P45)
		4Kフォト(P46)
		オートブラケット(P48)
		セルフタイマー(P48)
		バッテリー残量
		手ブレ補正*2(P49)
		手ブレ警告
		記録動作(赤点滅)/フォーカス(緑点灯)(P20)
		フォーカス(低照度時)
		フォーカス(星空AF時)
		Wi-Fi 接続状態
		ヒストグラム表示(P78)

3
名前* ³ (P77)
トラベル経過日数* ⁴ (P79)
月齢/年齢* ³ (P77)
旅行先* ⁴ (P79)
現在日時/旅行先設定* ⁴ : (P79)
露出メーター(P79)
焦点距離表示
ステップズーム

4
AFエリア(P41)
+ スポット測光ターゲット
+ センターマーカー表示
セルフタイマー* ⁵ (P48)
マイクレベル表示(P77)
LMT OFF マイクレベルリミッター(OFF)(P77)
サイレントモード(P49)
外部マイク
AEL AEロック(P43)
測光モード(P76)
P/プログラムシフト(P31)
3.5 絞り値(P20)
60 シャッタースピード(P20)
露出補正值(P43)
±0 明るさ(P30)
マニュアル露出アシスト(P33)
200 ISO感度(P44)

5
BKT AWB+ ホワイトバランスブラケット ホワイトバランス微調整
ホワイトバランス(P38)

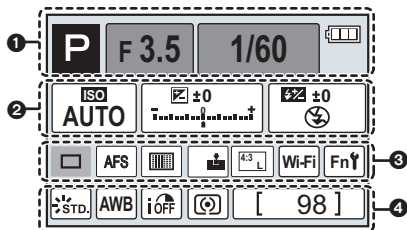
<input type="checkbox"/>	色合い(P30)
98	記録可能枚数* ⁶ (P16)
残XXmXXs	記録可能時間* ^{1,6} (P17)

6	
タッチタブ	
	タッチズーム
	タッチシャッター(P25)
	タッチ AE(P25)
	ピーキング(P78)
	ファンクションボタン(P27)
	色合い(P30)
	ボケ味コントロール(P30)
	明るさ(P30)
	ぼかし方(ジオラマ)
	ワンポイントカラー
	光源の位置
	画像効果(フィルター)調整
	画像効果(フィルター)(P77)
	絞り値(P20)
	シャッタースピード(P20)
ISO感度(P44)	
マイクレベル設定(P77)	

- ※1 hは「hour(時間)」,mは「minute(分)」,sは「second(秒)」を省略した表示です。
 ※2 手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。
 ※3 [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。
 ※4 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
 ※5 カウントダウン中に表示されます。
 ※6 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

撮影時

モニター撮影情報画面



1

iA iA+ P A S M	撮影モード(P21)
F3.5	絞り値(P20)
1/60	シャッタースピード(P20)
🔋	バッテリー残量

2

ISO AUTO	ISO感度(P44)
±0	露出補正值(P43)
↑ ↓	明るさ(P30)
MANUAL ASSIST	マニュアル露出アシスト(P33)
🔋 ⚡ ⚡ ⚡ ⚡ ⚡	フラッシュモード(P51)
🔋 ±0 2nd WL	フラッシュ設定

3

📷	単写(P45)
SH H M M L	連写(P45)
4K	4Kフォト(P46)
3/3	オートブラケット(P48)
🕒 1 2	セルフタイマー(P48)
AFS AFF AFC MF	フォーカスマード(P40, 42)
👁️ +	オートフォーカスマード(P41)
RAW	クオリティ(P39)
4:3	記録画素数/画像縦横比(P39)
Wi-Fi	Wi-Fi(P58)
Fn	ファンクションボタン設定(P27)

4

STD VIVID NAT MONO SCNY PORT CUST CNED CNEV	フォトスタイル(P76)
AWB 🌞 🌧️ 🏠 🌙	ホワイトバランス(P38)
WB 📷 iA	iAレンジコントロール(P76)
iOFF	測光モード(P76)
📷 📷 📷	記録可能枚数(P16)
98	記録可能時間(P17)
残XXmXXs	記録可能時間(P17)

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。ここではその主なメッセージを例として説明しています。

●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くのメッセージの例が記載されていますので、併せてご確認ください。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF規格に準拠していない画像は消去できません。

パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P16)してください。

メモリーカードエラー/フォーマットしますか?

本機では使用できないフォーマットです。

- 別のカードを入れてお試しください。
- パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P16)し直してください。データは消去されます。

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P17)

再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P15)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました/接続できませんでした/送信先が見つかりませんでした

- 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
 - 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。
 - 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
 - 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- 接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

送信先の制限によって、送信できる画像が1つも無い場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。

メニュー一覧

- [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[回析補正]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。

どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

撮影

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定	画像効果(フィルター)に関する設定をします。
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。(P39)
記録画素数	記録画素数を設定します。(P39)
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P39)
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。(P41)
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。
連写速度	連写時の連写速度を設定します。(P45)
4K フォト	4Kフォトの撮影のしかたを設定します。
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P48)
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。(P48)
インターバル/ コマ撮り撮影	インターバル撮影とコマ撮りアニメの撮影時の設定を行います。
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影します。
i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。(P29)
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。(P29)
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。
パノラマ設定	パノラマ撮影の撮影方向と画像サイズを設定します。(P34)
電子シャッター	電子シャッターで撮影することができます。(P44)
シャッターディレイ	手ブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあとと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P51)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO感度上限設定	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。
拡張ISO感度	ISO感度が最小[ISO100]まで設定できるようになります。
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。
シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。

📷 撮影 (続き)

回折補正	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。
EX テレコン(写真)	記録画素数を [L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。(P49)
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。

🎥 動画

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定	画像効果(フィルター)に関する設定をします。
スナップムービー	撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。
記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。(P52)
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、記録フレームレートなど)を設定します。(P52)
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。(P36)
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。(P41)
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影します。
回折補正	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。
輝度レベル設定	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。(P36)
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力レベルを 19 段階に調整します。
専用マイク設定	ステレオガンマイクロホン(別売)接続時の收音方法を設定します。
マイクレベルリミッター	音声入力レベルを自動的に調整します。
風音キャンセラー	音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。



📺 動画 (続き)

風音低減	外部マイクを装着して音声記録時に風雑音がある場合、風雑音を効果的に低減します。
レンズ動作音低減	パワーズームに対応した交換レンズの、動画撮影時に記録されるズーム動作音を低減します。

⚙️ カスタム

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。(P37)
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。(P49)
AF/AEロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。
AF/AEロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。
シャッター半押し リリース	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
ピンポイントAF表示	オートフォーカスモードを[+]に設定したときのアシスト画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
ダイレクト フォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。
フォーカス/リリース優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手でピントを合わせることができます。
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。
MFアシスト表示	MFアシスト(拡大画面)を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。
MFガイド	手でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。
ピーキング	手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す [+] を表示します。
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。

Ⓜ カスタム (続き)

常時プレビュー (Mモード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示します。
ファンクション Fn ボタン設定	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。(P27)
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。
ダイヤル設定	後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。
パワーズームレンズ	パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたときに表示される画面を設定します。
レンズ無しリリース	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。

Ⓜ セットアップ

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P18)
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。
モニター調整 /LVF 調整	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	バッテリーの消耗を防ぐための設定ができます。
USBモード	USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。
テレビ接続設定	テレビなどとの接続のしかたを設定します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。

🔧 セットアップ (続き)

メニュー インフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ([PicMate 設定]は除く)
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。(P85)
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。(P16)

📺 再生

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。
RAW 現像	RAW 形式で撮影した写真をカメラで JPEG 形式に現像できます。(P56)
クリアタッチ	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。(P57)
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい]/[いいえ] のどちらが最初 に選ばれるかを設定します。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P81～84)をお試してください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット](P80)を行うと症状が改善する場合があります。




これらの処置をしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(P97)をお読みください。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くのQ&Aが記載されていますので、併せてご確認ください。


電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。
→充電してください。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→[エコモード](P79)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

バッテリーの消耗が早い。

- ドライブモードを4Kフォトにし、[4K フォト]を[(4Kプリ連写)に設定していませんか？
[→撮影するときだけ[

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ドライブモードを4Kフォトにし、撮影メニューの[4Kフォト]を[

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。(P20)
- 手ブレや被写体ブレしています。(P49)
- [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていませんか？(P78)
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていませんか？(P78)
- 不適切な状態でAFロック(P43)がかかかっていませんか？

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に動かないことがあります。
→本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P19)
→遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P48)を使って撮影してください。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。(P44)

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。




- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで撮影していませんか？(P44)
→電子シャッター使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。



撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。


4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で4Kフォトの[(4K連写)]や[(4K連写(S/S))]の撮影を行った場合は、本機の保護のため、[]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、[]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波(電波塔、高圧線など)により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか?フラッシュを開いてください。(P50)
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P44)
→ [電子シャッター]を [OFF]に設定してください。
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P49)
→ [サイレントモード]を [OFF]に設定してください。

フラッシュが2回発光する。

- フラッシュは2回発光します。([フラッシュ設定]の[発光モード]を[マニュアル]に設定時を除く)特に赤目軽減(P51)に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか?
- カードに再生できる画像はありますか?
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか?この場合、本機で再生することはできません。
→ パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定していませんか?
→ [通常再生]に設定してください。

フォルダー・ファイル番号が[-]で表示されたり、画面が黒くなる。

- 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？
- 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？
→このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマット(P16)してください。

画面に「サムネイル表示」と表示される。

- 他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？
→同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
→本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
→本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
→本機の向きを変えてください。
→無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
→[マニュアル入力]を行ってください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
→無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1~11チャンネルの中から選び、設定してください。
→無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？
→5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

パソコンに画像を送信できない。

- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoft アカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定]メニューの[PC 接続設定]の[変更する]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。
- 本機と接続するパソコンの時計設定が大きすぎる場合、OSによっては接続できないことがあります。
→ 本機の[時計設定]/[ワールドタイム]が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、または Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [送信サイズ]で画像サイズを小さくして送信してください。
→ [動画分割](P57)で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→ [LUMIX CLUB (PicMate)]にログインし、「Web サービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

テレビで動画の再生ができない。

- カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか?
→ AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルをテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P66)

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- HDMIマイクロケーブルで正しく接続されていますか?(P66)
- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?
→ 入力切換が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切換してください。
→ 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。
→ テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)

レンズ部から音がする。

- 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニター裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P18)

使用上のお願い

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くが記載されていますので、併せてご確認ください。

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に動きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、次のことを必ずお守りください。

使用上のお願い (続き)

- ブローワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブローワーをレンズマウントより中に入れしないでください。
- ブローワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブローワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブローワー以外のものは使用しないでください。
- ブローワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダー/アイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、ブローワー(市販)でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をゼロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Wi-Fi 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID[※]) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズTM 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング (株) の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズTM 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング (株) の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI ControlTM は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



使用上のお願い (続き)

- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®"、"Wi-Fi Direct®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェアの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブル、または当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)をお使いください。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2mまで)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fi メニューの[認証情報]で確認できます。

下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口		365日 受付9時~20時
パナは ルミックスバチ!		
電話	フリーダイヤル	0120-878-638
※携帯番号・PHSからもご利用になれます。		
■ 上記番号がご利用 いただけない場合	06-6907-1187	■ FAX フリーダイヤル
		0120-878-236

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- 1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ
- 2 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- 3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V (≒ 8.4 V)
消費電力	2.7 W (モニター撮影時) [交換レンズ(H-FS14140)装着時] 2.0 W (モニター再生時) [交換レンズ(H-FS14140)装着時]
カメラ有効画素数	1600万画素
撮像素子	4/3型 Live MOSセンサー 総画素数 1684万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン	写真時：最大2倍(記録画素数[S](4M)、画像横縦比[4:3]選択時) 動画時：2.4倍/3.6倍/4.8倍
フォーカス	オートフォーカス/マニュアルフォーカス 顔・瞳認識/追尾/49点/カスタムマルチ/1点/ピンポイント (タッチフォーカスエリア選択可能)
シャッター方式	フォーカルプレーンシャッター
連写撮影	
連写速度	メカシャッター：8コマ/秒(高速、AFS)、6コマ/秒(高速、AFC)、 6コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速) 電子シャッター：40コマ/秒(超高速)、10コマ/秒(高速)、 6コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速)
連写コマ数	RAWファイルあり：13コマ以上 RAWファイルなし：100コマ以上 ※当社測定条件による撮影時
ISO感度 (標準出力感度)	オート/インテリジェントISO/100 [*] /200/400/800/1600/ 3200/6400/12800/25600 (1/3 EV ステップに変更可能) ※ [拡張ISO感度] を設定時のみ
最低被写体照度	約9 lx(iローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ(H-FS14140)装着時]
シャッタースピード	写真：8(バルブ)(最大約120秒間)、60~1/4000秒(メカシャッター時) 1~1/16000秒(電子シャッター時) 動画：1/25~1/16000秒
測光範囲	EV 0 ~ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/ホワイトセット3/ ホワイトセット4/色温度設定
露出	プログラムAE (P)、絞り優先AE (A)、シャッター優先AE (S)、 マニュアル露出 (M)、オート 露出補正 (1/3 EVステップ、-5 EV~+5 EV)
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光

モニター	3.0 型 TFT 液晶 (3:2) (約104万ドット) (視野率約100%) タッチパネル
ファインダー	有機ELライブビューファインダー (4:3) (約236万ドット) (視野率約100%) [倍率 約1.40倍、約0.70倍(35 mm フィルムカメラ換算)、 - 1m ⁻¹ 50 mm 無限遠時] (視度調整付き -4~+4diopter)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 GN9.3相当 (ISO200・m) [GN6.6 相当 (ISO100・m)] 撮影可能範囲: 約0.8 m~約 7.5 m [交換レンズ (H-FS14140) 装着、W 端、[ISO AUTO] 設定時]
フラッシュモード	オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/160 秒以下
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード*/SDXCメモリーカード* * UHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3 対応
記録画素数	
写真	画像横縦比[4:3]設定時 4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素 画像横縦比[3:2]設定時 4592×3064画素/3232×2160画素/2272×1520画素 画像横縦比[16:9]設定時 4592×2584画素/3840×2160画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素
画質設定	
動画	[AVCHD] 1920×1080(FHD/60p:28 Mbps)、60p記録(センサー出力60コマ/秒) 1920×1080(FHD/60i:17 Mbps)、60i記録(センサー出力60コマ/秒) 1920×1080(FHD/30p:24 Mbps)、60i記録(センサー出力30コマ/秒) 1920×1080(FHD/24p:24 Mbps)、24p記録(センサー出力24コマ/秒) [MP4] 3840×2160(4K/30p:100 Mbps)(センサー出力30コマ/秒) 3840×2160(4K/24p:100 Mbps)(センサー出力24コマ/秒) 1920×1080(FHD/60p:28 Mbps)(センサー出力60コマ/秒) 1920×1080(FHD/30p:20 Mbps)(センサー出力30コマ/秒) 1280×720(HD/30p:10 Mbps)(センサー出力30コマ/秒) 640×480(VGA/30p:4 Mbps)(センサー出力30コマ/秒)
クオリティ (圧縮率)	RAW/RAW+ ファイン/RAW+ スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO+ファイン/MPO+スタンダード

仕様 (続き)

記録画像ファイル形式		
写真	RAW/JPEG (DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応)/MPO	
動画	AVCHD Progressive/AVCHD/MP4	
音声圧縮方式	AVCHD	Dolby® Digital (2ch)
	MP4	AAC (2ch)
インターフェース		
デジタル	USB 2.0 (High Speed)	
アナログビデオ	NTSC コンポジット	
オーディオ	オーディオライン出力 (モノラル)	
端子		
[REMOTE]	Ø2.5 mm ジャック	
[AV OUT/DIGITAL]	専用ジャック (8pin)	
[HDMI]	micro HDMI Dタイプ	
[MIC]	Ø3.5 mm ジャック	
寸法	約幅 124.9 mm×高さ 86.2 mm×奥行き 77.4 mm (突起部除く)	
質量	約410 g (カード、バッテリー含む) 約360 g (本体) 約675 g [カード、交換レンズ (H-FS14140)、バッテリー含む]	
推奨使用温度	0℃～40℃	
許容相対湿度	10%RH～80%RH	
言語切り換え	なし (日本語のみ)	

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2462 MHz (1～11ch)
暗号化方式	Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用バッテリーチャージャー: DE-A79A

定格入力	100 V - 240 V 50/60 Hz
入力容量	14 VA (100V) - 22VA (240V)
定格出力	DC 8.4 V 0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLC12

電圧/容量	7.2 V/1200 mAh
-------	----------------

交換レンズ: H-FS14140

(LUMIX G VARIO 14-140 mm/F3.5-5.6 ASPH./POWER O.I.S.)

焦点距離	f=14 mm ~ 140 mm (35 mm フィルムカメラ換算: 28 mm ~ 280 mm)
絞り形式	7枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5 (W 端時) ~ F5.6 (T 端時)
最小絞り値	F22
レンズ構成	12群 14枚 (非球面レンズ3枚、EDレンズ2枚)
撮影範囲	0.3 m ~ ∞ [撮像面から] (焦点距離 14 mm ~ 21 mm) 0.5 m ~ ∞ [撮像面から] (焦点距離 22 mm ~ 140 mm)
最大撮影倍率	0.25× (35 mm フィルムカメラ換算: 0.5×)
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	あり (ON/OFF 切り換え)
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75° (W 端時) ~ 8.8° (T 端時)
フィルター径	58 mm
最大径	約67 mm
全長	約75 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで)
質量	約265 g

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。

■ Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

2 [取扱説明書]をクリックする

- [取扱説明書 活用ガイド](PDF形式)が開きます。パソコンに保存することもできます。
- [取扱説明書 活用ガイド](PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2015年5月現在)
<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

■ Macの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる

2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く

3 PDFファイルをダブルクリックする

- [取扱説明書 活用ガイド](PDF形式)が開きます。パソコンに保存することもできます。

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思っておりますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	家電情報をまとめて登録／管理 購入年月や製造番号などを My 家電リストに保存できます。
ご登録特典 2	商品情報をスムーズに入手 Q&A や取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典 3	エンジョイポイントがたまる たまったポイントでプレゼントに応募できます。

お問い合わせ先：

CLUB Panasonic 事務局 (club-info @ panasonic.jp)

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

● 二次元バーコードを使ってアクセスする場合



● URL を入力してアクセスする場合

<http://mobile.club.panasonic.jp/>

※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■ スマートフォンからの登録方法

パナソニックが提供するスマートフォン専用アプリを使うとさらに簡単に登録できます。詳しくは 96 ページをご覧ください。

「パナソニックスマートアプリ」のご案内

Panasonic
Smart
App

「パナソニックスマートアプリ」について

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

「パナソニックスマートアプリ」で取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



- カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント(無線LANルーター)につないで、ご愛用者登録することができます。
- カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリを一括で管理できます。
- お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます。

「パナソニックスマートアプリ」のダウンロード方法や
使い方はこちら

<http://panasonic.jp/pss/ap/>



- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用には、パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトでご確認いただけます。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」[Q & A 故障かな?と思ったら](75 ページと 81 ~ 84 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド(PDF 形式))でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ/レンズキット/ ボディ
	<input type="checkbox"/> DMC-G7H
●品番	<input type="checkbox"/> DMC-G7
	<input checked="" type="checkbox"/> お買い上げの品番に記入してください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口		365日 受付9時~20時
電話	フリーダイヤル	パナは ルミックスバチ!
		0120-878-638
		※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● パナソニックスマートアプリの使いかたなどの相談は

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト
http://panasonic.jp/pss/ap/
パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口	365日 受付9時~20時	
電話	フリーダイヤル	パナは ハチサンニ
		0120-878-832
		※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(保証期間内は無料です)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキット/ボディの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がる
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やチャージャーが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出して
おります。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
東北地区	宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
首都圏地区	川口 ☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京 ☎(03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	秋葉原 ☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	立川 ☎(042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
中部地区	神奈川 ☎(045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
	愛知 ☎(052)819-0225	名古屋瑞穂区塩入町8-10
近畿地区	京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪 ☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
中国地区	兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
四国地区	岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
九州地区	香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
沖縄地区	福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1114

会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>



※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日
受付9時~20時

電話 フリー
ダイヤル



パナは ルミックスバチ!
0120-878-638

※携帯電話・PHSからのご利用になります。

■上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■FAX
フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

- お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(保証期間内は無料です)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015